

大学番号：私立074

注3

[令和2年度設置]

計画の区分：大学院の設置

注1

認可

三育学院大学大学院

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 三育学院
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 東京校舎 事務部

職名・氏名 シムジチョウ 事務次長 フクシママサオ 福島正夫

電話番号 03-3392-8267

（夜間） 090-4387-1910

F A X 03-3392-8269

e-mail fukushima@saniku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院

＜看護学研究科看護学専攻（修士課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 附帯事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 三育学院

(2) 大学名

三育学院大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒167-0032

東京都杉並区天沼3-17-15

(〒298-0297)

(千葉県夷隅郡大多喜町久我原1500)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シダ マシ) 島田 真澄 (平成24年4月)		
学長	(ヒガ シ カミ) 東出 克己 (平成22年4月)		
学部長	(スギ スミ) 鈴木 純恵 (平成30年4月)		
研究科長	(スギ スミ) 鈴木 純恵 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	2	5	年次 人	10	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	5人 () []	人 () []	1倍	倍									
志願者数	() [5]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	() [5]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	() [5]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	() [5]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	5 [0] (0)	[] ()									
2年次	/		[] ()								
3年次	/		/		[] ()						
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	5 [0] (0)	[] ()									

・令和2年5月1

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

2 授業科目の概要

<看護学研究科看護学専攻（修士課程）>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼履			
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手				
共通科目	キリスト教人間学	1前	2			1						兼1		
	保健医療福祉連携特論	1後	2			2								
	看護研究方法論Ⅰ(総論)	1前	2			2								
	看護研究方法論Ⅱ(量的研究・質的研究)	1後	2			2								
	看護理論	1-2前	2			1								
	看護管理学	1-2後	2				1							
	実験的行動分析学特論	1-2後	2					1						
小計(7科目)	—	8	6	0	6	1					兼7			
専門科目 普通実践看護学分野	スピリチュアルケア特論	1-2前	2			2						兼3		
	看護教育学特論	1-2前	2			2								
	看護技術特論	1-2前	2			2	1							
	感染看護学特論	1-2前	2			1								
	普通実践看護学演習ⅠA(事例分析)	1前	2			4	1							
	普通実践看護学演習ⅠB(フィールドワーク)	1後	2			4	1							
	普通実践看護学演習Ⅱ(文献講読)	1通	4			4	1							
	小計(7科目)	—	0	16		4	1						兼5	
	専門科目 特定実践看護学分野	成人看護学特論	1-2前	2			1	1						兼1
		成人看護学特論	1-2前	2			2	1						
高齢者看護学特論		1-2前	2			2	2							
地域看護学特論		1-2前	2			1	1							
特定実践看護学演習ⅠA(事例分析)		1前	2			6	3							
特定実践看護学演習ⅠB(フィールドワーク)		1後	2			6	3							
特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読)		1通	4			6	3							
小計(7科目)	—	0	16		6	3					兼1			
研究科目	特別研究Ⅰ	1通	4			12	3					0		
	特別研究Ⅱ	2通	4			12	3							
	小計(2科目)	—	8	0	0	12	3							
合計(23科目)			—	16	38	0	12	4	0	0	0	兼12		

卒業要件及び履修方法

・標準修業年限2年以上在学
 ・「共通科目」において、必修科目8単位を含め、選択科目から2単位以上、計10単位以上
 ・「専門科目」において、主として専攻する特論2単位
 ・主として専攻する特論に関する演習ⅠA、演習ⅠBと演習Ⅱ、計8単位
 ・主として専攻する特論が含まれる分野以外の講義科目から2単位以上
 ・特別研究Ⅰと特別研究Ⅱの8単位
 ・合計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼履			
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手				
共通科目	キリスト教人間学	1前	2			1						兼1		
	保健医療福祉連携特論	1後	2			2								
	看護研究方法論Ⅰ(総論)	1前	2			2								
	看護研究方法論Ⅱ(量的研究・質的研究)	1後	2			2								
	看護理論	1-2前	2			1								
	看護管理学	1-2後	2				1							
	実験的行動分析学特論	1-2後	2					1						
小計(7科目)	—	8	6	0	6	1					兼7			
専門科目 普通実践看護学分野	スピリチュアルケア特論	1-2前	2			2						兼3		
	看護教育学特論	1-2前	2			2								
	看護技術特論	1-2前	2			2	1							
	感染看護学特論	1-2前	2			1								
	普通実践看護学演習ⅠA(事例分析)	1前	2			4	1							
	普通実践看護学演習ⅠB(フィールドワーク)	1後	2			4	1							
	普通実践看護学演習Ⅱ(文献講読)	1通	4			4	1							
	小計(7科目)	—	0	16		4	1						兼5	
	専門科目 特定実践看護学分野	成人看護学特論	1-2前	2			1	1						兼1
		成人看護学特論	1-2前	2			2	1						
高齢者看護学特論		1-2前	2			2	2							
地域看護学特論		1-2前	2			1	1							
特定実践看護学演習ⅠA(事例分析)		1前	2			6	3							
特定実践看護学演習ⅠB(フィールドワーク)		1後	2			6	3							
特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読)		1通	4			6	3							
小計(7科目)	—	0	16		6	3					兼1			
研究科目	特別研究Ⅰ	1通	4			12	3					0		
	特別研究Ⅱ	2通	4			12	3							
	小計(2科目)	—	8	0	0	12	3							
合計(23科目)			—	16	38	0	12	4	0	0	0	兼12		

卒業要件及び履修方法

・標準修業年限2年以上在学
 ・「共通科目」において、必修科目8単位を含め、選択科目から2単位以上、計10単位以上
 ・「専門科目」において、主として専攻する特論2単位
 ・主として専攻する特論に関する演習ⅠA、演習ⅠBと演習Ⅱ、計8単位
 ・主として専攻する特論が含まれる分野以外の講義科目から2単位以上
 ・特別研究Ⅰと特別研究Ⅱの8単位
 ・合計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	17 科目	0 科目	23 科目	6 科目 [0]	17 科目 [0]	0 科目 [0]	23 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	5人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
人	人	令和2年度	人	人		
		令和3年度	人	人		
		令和4年度	人	人		
人	人	令和2年度	人	人		
		令和3年度	人	人		
		令和4年度	人	人		
		令和5年度	人	人		
人	人	令和2年度	人	人		
		令和3年度	人	人		
		令和4年度	人	人		
		令和5年度	人	人		
		令和6年度	人	人		
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大多喜校地103,579㎡ 東京校地844.46㎡・東京校地内、427.94㎡借用、借用期間（平成30年～40年）その後10年間の更新・大多喜校地を専門学校三育学院カレッジ（取容定員74人、千葉県所轄）と共用		
	校舎敷地	285,515.46㎡	0.00㎡	300.00㎡	28,815.46㎡			
	運動場用地	㎡	25,636.00㎡	0㎡	25,636.00㎡			
	小 計	285,515.46㎡	25,636.00㎡	300.00㎡	54,451.46㎡			
	そ の 他	0㎡	49,972.00㎡	0㎡	49,972.00㎡			
	合 計	285,515.46㎡	75,608.00㎡	300.00㎡	104,423.46㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	・大多喜校舎を専門学校三育学院カレッジ（必要面積225㎡）と共用			
	5,372.31㎡ (5,372.31㎡)	1,451.50㎡ (1,451.50㎡)	529.11㎡ (529.11㎡)	7,352.92㎡ (7,352.92㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	14 室	3 室	6 室	1 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	看護学研究科 看護学専攻（修士課程）		26 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点
	看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)	14,837 [347] (14,456 [156])	151 [33] (140 [33])	34 [6] (23 [6])	315 (315)	1793 (1793)	101 (101)	
		計	14,837 [347] (14,456 [156])	151 [33] (140 [33])	34 [6] (23 [6])	315 (315)	1793 (1793)	101 (101)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	615.06㎡		90		70,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	763.27㎡		テニスコート2面 多目的運動場2面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	2400千円	2400千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,050千円	800千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称											備 考
三 育 学 院 大 学											
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
看護学部 看護学科	4	50	0	200	学士 (看護学)	1.04	1.16		平成20年度	千葉県夷隅郡大多喜町久我原1500	
大学院 看護学研究科看護学 専攻(修士課程)	2	5	0	10	修士 (看護学)	1.00	1.00		令和2年度	東京都杉並区天沼3-17-15	
大学全体	-	55	0	210	-	-	-	-	-	-	
大学 の 名 称											備 考
〇 〇 短 期 大 学											
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科看護学専攻（修士課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	市川 光代 (68) <令和2年4月> 博士(医療福祉学)	高齢者看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	市川 光代 (68) <令和2年4月> 博士(医療福祉学)									
専	教授	小川 妙子 (70) <令和2年4月> 博士(看護学)	看護研究方法論Ⅰ(総論)※ 高齢者看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	小川 妙子 (70) <令和2年4月> 博士(看護学)									
専	教授	奥宮 暁子 (73) <令和2年4月> 博士(医学)	成人看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	奥宮 暁子 (73) <令和2年4月> 博士(医学)									
専	教授	後藤 佳子 (62) <令和2年4月> 修士(教育学) 修士(看護学)	成人看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	後藤 佳子 (62) <令和2年4月> 修士(教育学) 修士(看護学)									
専	教授	齋藤 ゆみ (71) <令和2年4月> 博士(医学)	感染看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	齋藤 ゆみ (71) <令和2年4月> 博士(医学)									
専	教授	篠原 清夫 (58) <令和2年4月> 教育学修士	保健医療福祉連携特論※ 看護研究方法論Ⅱ※ (量的研究・質的研究) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	篠原 清夫 (58) <令和2年4月> 教育学修士									
専	教授	鈴木 結恵 (68) <令和2年4月> 博士(看護学)	看護研究方法論Ⅱ※ (量的研究・質的研究) 成人看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	鈴木 結恵 (68) <令和2年4月> 博士(看護学)									
専	教授	鈴木(三品) 美和 (52) <令和2年4月> 博士(看護学)	看護教育学特論 普通実践看護学演習ⅠA(事例分析) 普通実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7) 普通実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	鈴木(三品) 美和 (52) <令和2年4月> 博士(看護学)									
専	教授	高橋 義文 (76) <令和2年4月> 神学博士	キリスト教人間学 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	高橋 義文 (76) <令和2年4月> 神学博士									

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の6月1日時点の誕生日**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実(専)、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科看護学専攻(修士課程)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	廣瀬 幸美 (61) <令和2年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学)	看護理論※ 看護研究方法論Ⅰ※(総論) 成育看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	廣瀬 幸美 (61) <令和2年4月> 博士(ヒューマン・ケア科学)									
専	教授	本郷 久美子 (76) <令和2年4月> 修士(看護学)	スピリチュアルケア特論※ 普通実践看護学演習ⅠA(事例分析) 普通実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7-7) 普通実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	本郷 久美子 (76) <令和2年4月> 修士(看護学)									
専	教授	丸山 美和子 (70) <令和2年4月> 博士(医学)	保健医療福祉連携特論※ 地域看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	丸山 美和子 (70) <令和2年4月> 博士(医学)									
専	准教授	今野 玲子 (50) <令和2年4月> 博士(看護学)	成人看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	今野 玲子 (50) <令和2年4月> 博士(看護学)									
専	准教授	松崎 敦子 (49) <令和2年4月> 博士(心理学)	成育看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	松崎 敦子 (49) <令和2年4月> 博士(心理学)									
専	准教授	松本 浩幸 (56) <令和2年4月> 修士(社会学)	地域看護学特論※ 特定実践看護学演習ⅠA(事例分析) 特定実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7-7) 特定実践看護学演習Ⅱ(文献講読)	専	准教授	松本 浩幸 (56) <令和2年4月> 修士(社会学)									
専	准教授	村上 寛 (56) <令和2年4月> 博士(保健学)	看護管理学※ 看護技術特論※ 普通実践看護学演習ⅠA(事例分析) 普通実践看護学演習ⅠB(7r-4t-7-7-7) 普通実践看護学演習Ⅱ(文献講読) 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	村上 寛 (56) <令和2年4月> 博士(保健学)									
兼任	講師	石橋 芳雄 (66) <令和2年4月> 医学博士	感染看護学特論※	兼任	講師	石橋 芳雄 (66) <令和2年4月> 医学博士									
兼任	講師	板倉 朋世 (60) <令和2年4月> 博士(工学)	看護技術特論※	兼任	講師	板倉 朋世 (60) <令和2年4月> 博士(工学)									

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科看護学専攻（修士課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名					
兼任	講師	齋藤 泰子 (68) <令和2年4月> 修士(教育カウンセリング)	齋藤 泰子 (68) <令和2年4月> 修士(教育カウンセリング)			
	地域看護学特論※		地域看護学特論※			
兼任	講師	陳田 泰子 (72) <令和2年4月> 修士(人間科学)	陳田 泰子 (72) <令和2年4月> 修士(人間科学)			
	看護管理学※		看護管理学※			
兼任	講師	筒井 真優美 (70) <令和2年4月> 学術博士	筒井 真優美 (70) <令和2年4月> 学術博士			
	看護理論※		看護理論※			
兼任	講師	中谷 啓子 (60) <令和2年4月> 博士(心身健康科学)	中谷 啓子 (60) <令和2年4月> 博士(心身健康科学)			
	看護研究方法論Ⅱ※ (量的研究・質的研究) スピリチュアルケア特論※		看護研究方法論Ⅱ※ (量的研究・質的研究) スピリチュアルケア特論※			
兼任	講師	永田 英子 (63) <令和2年4月> MA in Biomedical Clinical Ethics (米國)	永田 英子 (63) <令和2年4月> MA in Biomedical Clinical Ethics (米國)			
	スピリチュアルケア特論※		スピリチュアルケア特論※			
兼任	講師	西野 俊宏 (58) <令和2年4月> M.D. (Doctor of Medicine) (米國)	西野 俊宏 (58) <令和2年4月> M.D. (Doctor of Medicine) (米國)			
	保健医療福祉連携特論※		保健医療福祉連携特論※			
兼任	講師	西村 ユミ (51) <令和2年4月> 博士(看護学)	西村 ユミ (51) <令和2年4月> 博士(看護学)			
	看護研究方法論Ⅱ※ (量的研究・質的研究)		看護研究方法論Ⅱ※ (量的研究・質的研究)			
兼任	講師	平野 美理香 (53) <令和2年4月> 修士(リハビリテーション)	平野 美理香 (53) <令和2年4月> 修士(リハビリテーション)			
	看護管理学※		看護管理学※			
兼任	講師	森山 哲美 (67) <令和2年4月> 博士(心理学)	森山 哲美 (67) <令和2年4月> 博士(心理学)			
	実験的行動分析学特論		実験的行動分析学特論			

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
16	16	16
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
12	4	0	0	16	0	12	4	0	0	16	0
(12)	(4)	(0)	(0)	(13)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
13	2	1				13	2	1			
(13)	(2)	(1)				(13)	(2)	(1)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
12	4	0	0	16	0	12	4	0	0	16	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
13	2	1				[0]	[0]	[0]			
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ **「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要費済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。**（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	8	8
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{8}{16} = \boxed{50} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1										
2										
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	: 0	科目	必修	: 0	科目	必修	: 0	科目
		選択	: 0	科目	選択	: 0	科目	選択	: 0	科目
		自由	: 0	科目	自由	: 0	科目	自由	: 0	科目
		計	: 0	科目	計	: 0	科目	計	: 0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1										
2										
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	: 0	科目	必修	: 0	科目	必修	: 0	科目
		選択	: 0	科目	選択	: 0	科目	選択	: 0	科目
		自由	: 0	科目	自由	: 0	科目	自由	: 0	科目
		計	: 0	科目	計	: 0	科目	計	: 0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	: 0	科目	必修	: 0	科目	必修	: 0	科目
		選択	: 0	科目	選択	: 0	科目	選択	: 0	科目
		自由	: 0	科目	自由	: 0	科目	自由	: 0	科目
		計	: 0	科目	計	: 0	科目	計	: 0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\quad} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	: 0	科目	必修	: 0	科目	必修	: 0	科目
		選択	: 0	科目	選択	: 0	科目	選択	: 0	科目
		自由	: 0	科目	自由	: 0	科目	自由	: 0	科目
		計	: 0	科目	計	: 0	科目	計	: 0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
認 可 時 (令和元年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	遵守事項 研究科の運営に必要な諸規定の作成・整備や大学院履修要項等を作成し、運営体制を整えた。入学者5名を迎え、授業及び研究指導の開始にあたり、新型コロナの影響があったものの遠隔会議ツールシステムを用いて、必要なオリエンテーションを当初の予定通り4月9日に実施した。当日授業も開始した。その後、授業開始後は確実な実施に努め、各指導教員がワンツーワンできめ細かな指導を行っている。また、大学院に相応しい水準の研究活動を展開するための研究指導体制、図書・備品等の整備を行い、さらに、教員の研究推進を担う委員会の整備など、教育研究水準の一層の向上に努めている。(2)	履行中	左記の履行状況にあるような、確実な授業の実施、各指導教員がワンツーワンできめ細かな指導、大学院に相応しい水準の研究活動を展開するための研究指導体制の整備、教員の研究推進を担う委員会の整備を、引き続き着実に実施する。(2)
認 可 時 (令和元年)	完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 令和2年4月に開設し、現時点においては、未履行であるため、実施計画については右記に記載する。(2)	履行中	本研究科の完成年次の令和3年度末までに、本学専任教員の定年規定(65歳)を超える教員は、専任教員16名中8名、そのうち雇用延長の上限である78歳を超える教員はいない(理事会にて「高齢者の採用に関する内規」により定年延長は承認済み)が、78歳に達する教員は2名いる。この2名については退職(完成年度末)と同時に若手教員(採用・昇格時に60歳以下の教員を想定)を補充し、教員組織の年齢構成の適正化を図る予定である。それ以外の6名については、3名が完成年次の令和3年度末もしくはその1年以内に退職の予定であるため、退職の段階で後任の若手教員を配置し、教育研究体制を維持しつつ、学生の不利益にならないように年齢構成の適正化を図る。教員の交代時には、退職する教員と新たに就任する教員との間に教育研究上の断絶が生じないように、適切な対応措置を講じる。(2)

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備 a 院生室1室 (30.00㎡) 研究室3室 (54.70㎡) b 図書381冊	院生の修学環境を改善するため、院生室、研究室を改修予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で改修工事が夏休みに延期された。 図書は絶版の書籍を除き362冊を増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制-FD委員会

a 委員会の設置状況

教員の資質の維持向上においては、既設のFD委員会にて、大学院のFD活動も所管する。

【関連規定抜粋】

・大学院学則第3条(自己点検・評価)

「本学大学院看護学研究科は、教育研究水準の向上を図り、前条に掲げる目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。」

・ファカルティ・ディベロップメント委員会規定第2条（任務）

「委員会は、授業内容・方法の改善を図るとともに、教員個々人の教育力・研究力の維持向上を図る。さらに、大学運営に対する意識の啓発や学生支援の在り方等に関する研修会等を実施し、大学教員としての専門的な能力を高めることを目的とする。」

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は、副学長（委員長）を含め教員5人と事務職1名によって構成され、令和元年度においては5回（4/22、7/10、3回はメール会議：9月、11月、2月）を開催した。

c 委員会の審議事項等

(1) 委員会の運営方針と各役割分担

(2) FD研修会について、テーマ・発表者、実施方法

(3) 教育・研究懇話会について、テーマ・発表者、実施方法

(4) FD研修会、教育・研究懇談会のアンケートの実施と結果の共有

② 実施状況-FD委員会

a 実施内容

(1) 第1回教育・研究懇話会「新任教員の研究紹介：発達障害児への介入研究」

(2) 第2回教育・研究懇話会「領域別実習報告会」

(3) FD研修会「看護教育実践のリフレクション～気になる学生へのかかわりを振返ってみよう～」

- (4) 第3回教育・研究懇話会「研究倫理」
- (5) 第4回教育・研究懇話会「新任教員の研究紹介：アクションリサーチの方法と実際」

b 実施方法

- (1) 新任教員による研究「発達障害児への介入研究」についての講演：2019年5月15日（水）
- (2) 領域別実習の事前学習、実習の到達度と評価についてワークショップ：2019年8月5日（月）
- (3) 「看護教育実践のリフレクション」についての講義、グループワーク：2019年8月27日（火）
- (4) 「研究倫理」について研究倫理教育責任者による講義：2019年9月10日（火）、10月18日（金）
- (5) 新任教員による研究「アクションリサーチの方法と実際」についての講演：2019年11月12日（火）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 2019年5月15日（水）参加：19名
- (2) 2019年8月5日（月）参加：19名
- (3) 2019年8月27日（火）参加：24名
- (4) 2019年9月10日（火）、10月18日（金）：両日参加合計27名
- (5) 2019年11月12日（火）参加17名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和元年度について、実習指導・学生支援の実際を教職員全体で情報共有し、実習・授業の改善につなげている、

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期と後期の全開講科目について、原則として授業最終日に授業アンケートを実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は授業担当教員にフィードバックするが、各科目とも履修者数が少なく（1名の科目もあり）、回答学生が特定されてしまうため、担当教員への伝達方法を工夫する。

学生から集計結果の公表について希望があった場合などを想定し、学生への公開方法について検討する。

① 実施体制-SD委員会

a 委員会の設置状況

職員の資質の維持向上においては、既設のSD委員会にて、大学院のSD活動も所管する。

b 委員会の開催状況（職員の参加状況含む）

SD委員会は、事務局長（委員長）を含め職員4人によって構成され、令和元年度においては2回（4/8、11/27）開催した。

c 委員会の審議事項等

- (1) 委員会の運営方針
- (2) 職員個々の資質向上を図るため、SD研修会（全体研修）を実施
- (3) 職員個々の資質向上を図るため、それぞれの業務にあわせた研修参加

② 実施状況-SD委員会

a 実施内容

- (1) グループディスカッション「大学院開設をふまえ、高等教育運営向上の取組み」
- (2) SD研修「働き方改革 — 勤務時間の捉え方」：2019年12月24日（火）
- (3) 個人研修

b 実施方法－集合研修

- (1) グループディスカッション「大学院開設をふまえ、高等教育運営向上の取組み」：2019年12月24日（火）
- (2) SD研修「働き方改革 ― 勤務時間の捉え方」：2019年12月24日（火）

c 開催状況（職員の参加状況含む）

- (1) 2019年12月24日（火）参加：27名
- (2) 2019年12月24日（火）参加：27名

d 実施方法－個人研修

- (1) 4月23日（火）セブンスター 圃場見学 食堂課1名
- (2) 4月24日（水）NTTエーザ協会 フレッシュマン研修 総務課1名 入試課1名
- (3) 6月19日（水）いすみ保健所 衛生管理講習会 食堂課1名
- (4) 7月10日（水）NTTエーザ協会 クレーム対応研修 総務課1名
- (5) 8月26日（月）～8月28日（水）東京都私学財団 学校会計講座 経理課1名
- (6) 9月4日（水）千葉県 調理研修会 食堂課1名
- (7) 9月10日（火）(株)ラーニングハブ 新入生の不安がたった1日で変わる 学生課1名
～初年次教育の実践報告～
- (8) 11月12日（火）セブンスター 圃場見学 食堂課2名
- (9) 12月10日（火）(株)グループティ 学校会計決算研修会 経理課1名
- (10) 2月7日（金）全国ハウスクリーニング協会 ハウスクリーニング技術研修 管理課1名

e 実施結果を踏まえた業務の改善への取組状況

令和元年度について、各課長を通し、職員個々の資質向上のため業務研修への参加を促し、10回の研修機会に12名の職員が参加し、業務改善への知識を習得できた。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

三育学院大学大学院学則

「第3条 本学大学院看護学研究科は、教育研究水準の向上を図り、前条に掲げる目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2前項の点検及び評価を行うにあたっての項目の設定、実施体制などについては別に定める。」とある。

上記の大学院の規定のとおり、大学院の設置の趣旨・目的の達成状況に関して、自己点検・評価を行うために、学部の自己点検・評価委員会の所管とし、その達成状況の評価を行う。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年度中に公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表予定（令和2年度中）

③ 認証評価を受ける計画

- ・本学部では、平成28年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証を受け、基準を満たしているとの評価を受けている。次回は、令和3年に同評価機構の評価を受ける予定であるが、大学院も同年に同評価機構による評価に加える予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。